

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 28 年 11 月 22 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	温浴施設における温泉熱回収ヒートポンプを用いた省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJKC0315
排出削減事業者名	知内町
排出削減共同実施事業者名	公益財団法人 北海道環境財団
事業実施場所	知内町健康保養センター こもれび温泉 (北海道上磯郡知内町字元町 103-2)
事業の概要	本事業は温浴施設において、本来A重油で行っていた浴槽昇温・暖房・給湯を、温泉熱回収ヒートポンプで行うことで省エネルギーを図るものである。これまで浴槽昇温・暖房・給湯の熱源機器として利用していたA重油ボイラーを、高効率の温泉排熱回収ヒートポンプに更新することでエネルギー使用量を削減し、CO ₂ 排出削減を図る。
排出削減量の計画	2009年度：45 tCO ₂ /年 2010年度：274 tCO ₂ /年 2011-2012年度：274 tCO ₂ /年 2013年度：210 tCO ₂ /年 2014-2016年度：225 tCO ₂ /年 2017年度：180 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,902 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2010年2月1日 終了予定日 2018年1月31日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2018年1月31日となっている。

排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源設備の更新
---------	------------------------------------

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年3月31日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,010tCO ₂ （2013年4月1日～2016年3月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 電力量計の集計データ並びに事業者へのヒアリングにより排出削減事業が計画通りに開始されていることを確認した。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 電力量計の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 電力量計の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 電力量計の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 電力量計の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジ

	<p>ェクト用) Ver.2.5 により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を電力量計の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2013 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2018 年 1 月 31 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 291.3kL、熱量換算 11,287.3GJ であることを確認した。

以 上